(1) 問い合せ内容

JXで作成した部品図を FX に持っていくと、イメージ図が小さい。

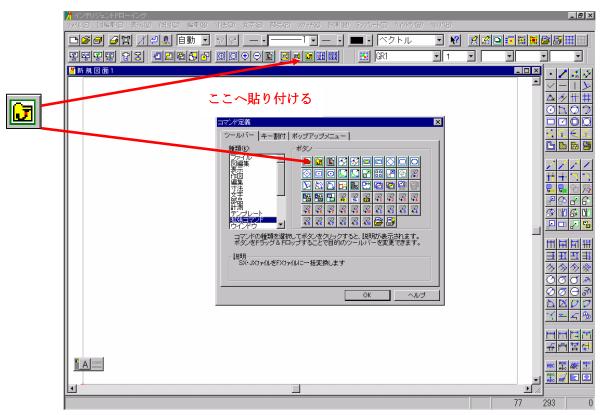
(2)回答

JX で作成した部品は領域が大きい為、小さくなる事があります。コマンド定義-拡張コマンドの中から、「SX・JX ファイルを FX ファイルに一括変換する機能」を使用します。

次に FX に変換した部品図面を開いてもう一つ作業が必要になります。 操作方法は、以下の手順で行っていただく様お願いします。

≪操作方法≫

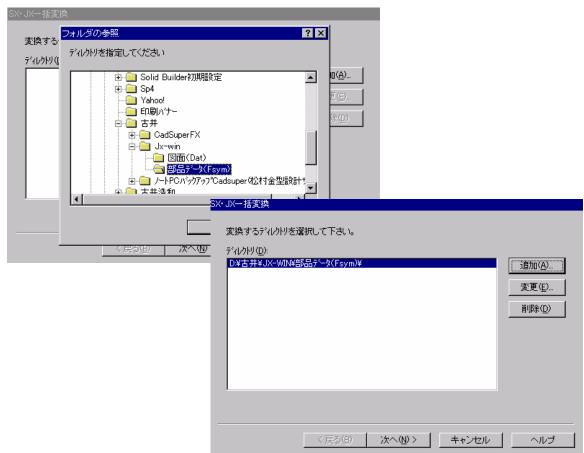
- ①FXのドローイングを起動する。
- ②ファイルー新規作成ー新規(用紙は自由)で図面を開いて、コマンド定義-拡張 コマンドの中から「SX・JX ファイルを FX ファイルに一括変換する機能」を使 用する為、ツールバーに追加する。(ある場合、この操作はいりません)



③「SX・JXファイルをFXファイルに一括変換する機能」を使います。



追加ボタンを押す。部品図面があるフォルダを指定する。



変換するディレクトリを選択できたので、次へ。

設定ボタンを押す。



同様に変換先フォルダを指定する。



変換先ディレクトリーが指定できたので、次へ。

設定ボタンを押すと変換するディレクトリを指定できます。



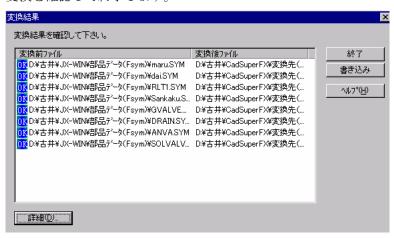
高度な設定ボタンをファイルの拡張子や変換定義ファイルでペン設定などが出来ます。



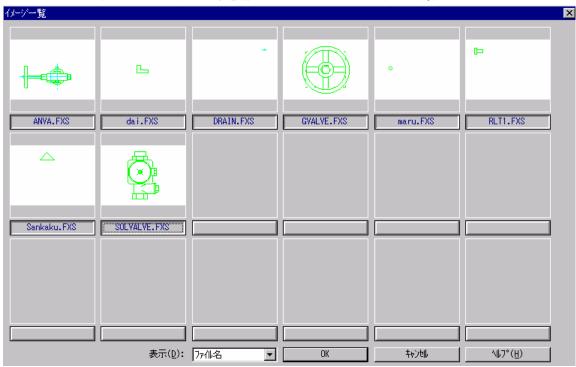
| 高度な設定 | | × |
|---|----------------|---------------------------------|
| ファイル拡張子 ・ デウォルト拡張子を使用する(<u>D</u>) Ex) Sample DAT -> Sample FXD ・ IBファイル拡張子を新ファイル名に取り込む(<u>A</u>) 連結文字(<u>J</u>) フ Ex) Sample DAT -> Sample_dat.FXD | 「□ 発生毎に確認する(E) | OK キャンセル ヘルフ°(<u>H</u>) |
| ○ 旧ファイル拡張子を使用する(L) Ex) Sample.DAT -> Sample.DAT | 変換定義ファイル設定(②) | |

OK を押すと変換を始めます。

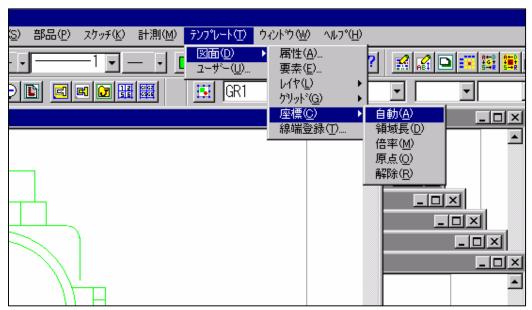
変換を確認して終了します。



④FX 変換後、ファイルー開く一部品図面を開く。(この時 Ctrl キーを押しながら図面名をクリックすると、複数の図面を一度に呼び出せます。)

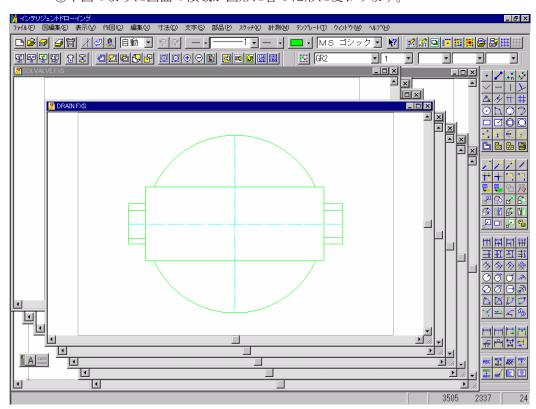


⑤テンプレートー図面ー座標ー自動をクリックします。



ここでコマンド定義-拡張コマンドの中から、コマンド定義-テンプレートの『図面全体がが領域中央に納まるように領域長を変更する』コ マンドがあるのでそれを使うと、さらに簡単に出来る。

⑥下図のように図面の領域が図形に合った形に変わります。



- ⑦ファイルー上書き保存で図面を保存します。(すべての図面に上書きを保存をします)
- ⑧図面を閉じます。

以上で操作は終了です。

この作業をしておくと、次回からファイルー挿入一部品のイメージ表示が下図のように大きく部品が表示されるようになります。一度設定すれば表示は保存されます。 お手数ですがよろしくお願いします。

